



日本シイエムケイ株式会社  
(証券コード：6958)

## 2012年3月期 第2四半期累計期間 決算説明資料

2011年 11月25日  
日本シイエムケイ株式会社

1



## 2012年3月期 第2四半期累計期間 決算概要

1. 総括	・・・	3
2. 売上高の状況	・・・	4
3. 営業利益の状況	・・・	6
4. 設備投資の状況	・・・	7
5. キャッシュフローの状況	・・・	8
6. 有利子負債・自己資本比率	・・・	9
7. 通期見通し	・・・	10
8. 今後の事業展開について	・・・	11

2

## 1. 総括 売上・利益実績



### ■売上

- ・東日本大震災の影響による自動車各社の生産調整が大きく影響し、自動車関連製品の売上高が大幅に減少したことにより、前年比で15.8%減少。

### ■利益

- ・売上高が大幅減少したものの、品質改善による限界利益改善、生産効率化によるコスト削減等を推進したことにより、前期比で営業損益改善。
- ・円高の影響により為替評価損(864百万円)発生し、経常損益は悪化。

(単位:百万円)

	11/3上半期 (実績)	12/3上半期 (実績)	前年比	増減率
売上	45,159	38,032	-7,126	-15.8%
営業利益	-543	-471	71	—
経常利益	-1,185	-1,382	-196	—
当期利益	-1,360	-1,282	77	—

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

3

## 2. 売上高の状況①



### ■用途別実績

(単位:百万円)

	11/3上半期 (実績)	12/3上半期 (実績)	前年比	増減率	
カーエレ・車載	23,060	18,754	-4,306	-18.7%	・自動車各社の生産調整により減少
通信	4,916	3,878	-1,038	-21.1%	
AV・デジタル家電※1	3,793	1,704	-2,089	-55.1%	・価格下落激しく、選別受注対応継続
デジタルカメラ	2,538	2,439	-99	-3.9%	
アミューズメント	844	1,946	+1,102	+130.6%	・ゲーム機用高付加価値基板増加
その他※2	10,008	9,312	-696	-7.0%	
合計	45,159	38,032	-7,126	-15.8%	

※1 ビジュアル+オーディオ ※2 コンピュータ+家電+OA+その他

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

4

## 2. 売上高の状況②



### ■製品別実績

(単位:百万円)

	11/3上半期 (実績)	12/3上半期 (実績)	前年比		主な要因
			増減額	増減率	
ビルドアップ・ パッケージ基板	14,122	12,562	-1,560	-11.0%	・車載向け需要減少 ・ゲーム機向け受注増加
多層プリント 配線板	13,443	11,032	-2,411	-18.0%	・車載向け需要減少 ・デジタル家電向け受注減少
両面プリント 配線板	10,290	8,233	-2,057	-20.0%	
その他	7,302	6,204	-1,098	-15.0%	
合 計	45,159	38,032	-7,126	-15.8%	

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

5

## 3. 営業利益の状況



### ■地域別実績

(単位:百万円)

	11/3上半期 (実績)		12/3上半期 (実績)		前年比		主な要因
	売上	利益	売上	利益	売上	利益	
日 本	33,006	549	27,332	798	-5,674	+249	・生産効率化等によるコスト削減
中 国	11,846	309	10,491	-410	-1,355	-719	・為替、人件費等コスト高
東南アジア	5,321	-1,219	4,824	-718	-497	+501	・タイ工場の損益改善
欧 米	1,594	35	1,458	55	-136	+20	
計	51,769	-325	44,106	-275	-7,663	+50	
消去又は全社	-6,609	-217	-6,073	-196	+536	+21	
連 結	45,159	-543	38,032	-471	-7,126	+71	

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

6

## 4. 設備投資の状況



### 実行ベース

(単位:百万円)

	11/3月上半期 (実績)	12/3上半期 (実績)	前年比	主な投資内容
国内	341	213	-128	
海外	713	622	-91	中国ビルドアップ事業向け約500百万円
連結	1,054	835	-219	
減価償却費	3,211	2,647	-564	

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

7

## 5. キャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

	11/3上半期 (実績)	12/3上半期 (実績)
営業活動によるCF①	3,127	2,357
投資活動によるCF②	-1,171	-436
フリー・キャッシュフロー①+②	1,956	1,921
財務活動によるCF	-2,148	-8,439
現金及び同等物増減額 (CF計)	-566	-6,387

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

8

## 6. 有利子負債・自己資本比率



(単位: 億円)

	11/3上半期 (実績)	11/3通期 (実績)	12/3上半期 (実績)
有利子負債残高 <sup>(注)</sup>	321	338	265
総資産	1,176	1,134	1,022
自己資本	605	555	543
自己資本比率	51.4%	49.0%	53.2%
EPS	-23.15円	-97.48円	-21.83円

(注) リース債務を含む

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

9

## 7. 通期見通し



### ■通期見通しについて

- ・現時点ではタイにおける大規模洪水の影響について合理的な算定が困難な為、通期見通しについては2011年11月2日に公表の通期業績予想を変更せず。
- ・顧客メーカーの生産調整や経済環境等を踏まえ通期見通し数値を算定中。  
⇒修正必要あれば、改めて公表。

(単位: 百万円)

	11/3通期 (実績)	12/3通期 見通し
売上	87,023	87,000
営業利益	-1,041	1,500
経常利益	-1,991	200
当期利益	-5,726	300

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

10

## 8. 今後の事業展開について



### ■中期経営計画の策定見直しについて

- ・10月に発生したタイにおける大規模洪水に関しては、当社グループに直接的な物的被害および人的被害は免れたものの、洪水の長期化により産業界におけるサプライチェーン全体に大きな影響あり。
  - ・顧客メーカーにおいては、グローバルでの生産体制の見直しや調達分散化等の動きが加速。
- ⇒ 2013年3月期~2015年3月期の3カ年を対象とした中期経営計画を策定。  
しかし、上記環境変化等を踏まえた上で見直しが必要と判断。  
見直し作業実施後、改めて公表予定。

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

11



END

12